

“2025ひろしまフラワーフェスティバル（FF）”に参加しました
—グアナファト州知事広島訪問・FF参加とグアナファト州から派遣された
マリアッチ、モヒガンガがFF他、各会場・イベントの盛り上げに貢献—

48回目を迎えた“2025ひろしまフラワーフェスティバル（FF）”が、今年も5月3日から5日の日程で開催されました。

今回は、5月4日から6日の日程でグアナファト州リビア・ガルシア知事が広島を訪問され、また、5月3日からのFFには、昨年に続いてグアナファト州からマリアッチ“フヴェニル・カンペロス”と今回初登場の同州サン・ミゲル・デ・アジェンデ市では、祝祭に欠かせない巨大な被り物人形“モヒガンガ”が広島に派遣されました。

5月3日、FF初日は、花の総合パレードに始まり、マリアッチを先頭に、当親善協会関係者、マツダメキシコ人実習生など約150名が平和大通りを行進しました。

同日、マリアッチ、モヒガンガは4箇所のステージに出演するなど大忙しでした。



5月4日には、州知事訪問団が広島に到着し、マツダスタジアムにおいて“広島 対 中日”戦を観戦されました。試合開始前には外野芝生上で湯崎知事、州知事がご挨拶された後、マリアッチの演奏が行われ、観戦に訪れた皆様に沸かせました。その後マリアッチはパティールームなど11個所で演奏し、いずれも好評でした。

同日、17時30分からは、州知事をはじめ州政府の皆様と湯崎知事など、およそ70名で、本通り紙屋町の辺りから金座街福屋横までの区間をマリアッチの演奏でパレードしました。



5月5日、FF最終日のスタートを飾るオープニングパレードの花車に湯崎知事、州知事が乗車され、平和大通り沿道の皆様に手を振られ歓声に応えていました。また同日のコスモスステージに湯崎知事と共に州知事が登壇され、ご挨拶されました。

なお、同日の朝、サッカースタジアムで知事会談が行われ、オープニングパレード後に、平和記念資料館の視察、午後には、グアナフアト州絵画展テープカット、FF視察、そしてテレビ番組生放送出演があり、同日締めくくりとして歓迎レセプションに出席され、大変忙しい1日となりました。

短い広島滞在ではありましたが、歓迎の思いをお伝えできたと思います。



F F並びに州知事滞在期間を通して、マリアッチ“フヴェニル・カンペロス”は卓越した演奏とメンバー各自の歌唱力で各会場を訪れた方々を魅了し、また今回、広島県代表の曲である“広島天国”“それ行けカーブ”を習得しての再来広となり、各会場でそれらを披露し、大変な盛り上がりや感動を与えてくれ、彼らの広島に対する友好の思いを感じる場面でもありました。

そして、モヒガンは、日本ではお目にかかれぬともユニークで、またユーモラスな、その独特の動きは、とても印象深く、また、出会えることを期待しています。